



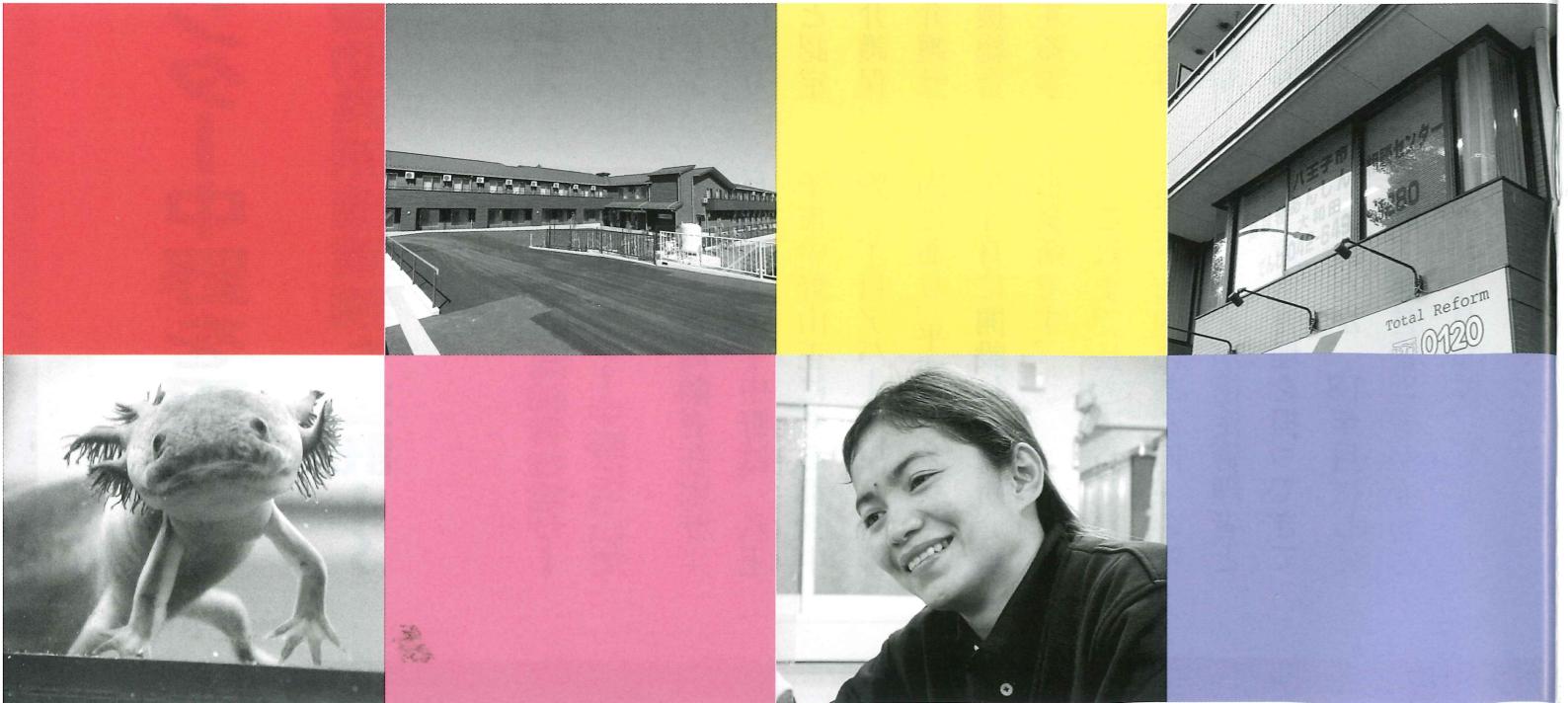
Green Days

社会福祉法人一誠会 広報誌『グリーン・デイズ』

特集

一誠会が八王子市高齢者在宅サービスセンター中野を受託!

~併設する高齢者世帯付住宅(シルバーピア)の生活援助員派遣業務も受託!~



**一誠会で働く
スタッフ
募集**

求める職種

- 介護職員(特別養護老人ホーム)
看護小規模多機能型居宅介護
- 訪問介護(登録ヘルパー)
- 看護職員(訪問看護)

未経験者から有資格者まで、年齢層も幅広く働いています。有資格者優遇、各種資格取得支援制度もあり。

詳細は、ホームページをご覧頂くか下記に、お問い合わせください！

☎ 042-691-2830

Event イベントスケジュール
(2月・3月の一誠会からのお知らせ)

◆行事の開催予定

- 2月/節分 3月/ひな祭り デイサービス・グループホーム初音の杜 第二偕楽園ホーム 偕楽園ホーム
令和6年3月2日(土) 第1回 社会福祉連携推進法人一五戸共栄会 実践研究発表大会 場所・偕楽園ホーム
令和6年3月28日(木) 社会福祉法人一誠会 ボランティア感謝の集い 場所・偕楽園ホーム

※各事業所から、別途、詳細をご案内いたします。

◆地域交流会(万講座)の開催◆

日時	令和6年2月3日(土)
内容	看取り介護施設で看取ること 在宅で看取ること
講師	偕楽園ホーム 副施設長 鷹野賢一
場所	偕楽園ホーム
時間	14時00分～15時30分

本会主催の行事や講座については、新型コロナウィルスの影響拡大に鑑み、開催を延期や中止させていただくことがあります。また、お申込みいただいた皆様には、延期後日程が決定次第、別途ご案内させていただきます。なお、感染症予防対策としてご来訪の皆様には検温などご協力いただくこともご了承ください。

◆地域福祉研修の開催◆

日時	令和6年2月22日(木)
講演	制度改正についての ポイント
講師	合同会社キャリアワークス 代表 林 正氏
場所	偕楽園ホーム
時間	16時00分～17時30分

地域福祉に関心のあるすべての従事者が、地域との協働や地域へのアプローチに向けた知識やスキルを学ぶ研修です。

社会福祉法人一誠会

<http://www.kairakuenhome.or.jp/>

ISO9001認証取得



苦情対応マネジメントシステム

職員募集中!

現在一誠会では、職員募集を行っています。募集中の職種や、待遇などは下記のQRコードからご覧ください。

また、一誠会のウェブサイト、SNSは左記のQRコードから。



職員紹介～注目の人～

ここでは、一誠会の職員を紹介していきます。今回は辰年生まれの職員を紹介します。

偕楽園ホーム
介護課 介護職員

初音の杜
グループホーム課
介護職員

ロブレス・エレイン

フィリピン出身で、偕楽園ホームのすぐ近くに住んでいます。偕楽園ホームのフィリピン人職員がとても楽しそうに通勤している姿を見て「ここで仕事をしてみよう」と思いました。

今年はもっと仕事を覚えてフロアの仕事もできるようになりたいです。



介護の専門学校を卒業後、市内の特別養護老人ホームに就職をしました。少人数の所で働きたいという思いがあつたので初音の杜に移り、以来グループホームで働いています。

これからもご利用のことを考えながら丁寧な対応で仕事をしていきたいと思います。



一誠会 WEB



Facebook



(旧)Twitter



Instagram



YouTube



詳しくは
こちら
click!!

特集

一誠会が八王子市高齢者在宅サービスセンター中野を受託！

一誠会では、昨年6月に八王子市から「八王子市高齢者在宅サービスセンター中野」の指定管理者募集があつたため、これに応募したところ、同12月に行われた八王子市の市議会定例会の議決などを経て、来る4月1日より、八王子市より同事業所を受託し、運営管理を行うこととなりました。



八王子市高齢者在宅サービスセンター中野。利用定員を30名とし、アットホームな雰囲気とご利用者と職員の距離の近さ、ご利用者一人ひとりのニーズに合わせてじっくりと向き合ったサービスが期待できます

高齢者在宅サービスセンターとは

八王子市高齢者在宅サービスセンター中野について

高齢者在宅サービスセンターは、要介護認定により「要支援」「要介護」と認定された方を対象に、介護保険制度に基づく通所介護サービス、日常介護支援総合サービス、事業サービスを提供する事業所です。

これまで長きにわたって八王子市内にある同一の社会福祉法人が指定管理者として運営管理を担つてきていましたが、18年目にして初めて運営管理者が変わることになります。



この度、八王子市高齢者在宅サービスセンター中野の指定管理を受け、SNSの一つ、Instagram(インスタグラム)を開設しました。

実際に事業が開始する4月1日までは、ユーザー名も「社会福祉法人一誠会 法人本部」としていますが、Instagramの特色でもある写真を通じてビジュアル表現による発信をお楽しみください。



Instagramは上のQRコードを読み込むとご覧になれます

八王子市高齢者在宅サービスセンター中野のInstagramも開設

速報！

もちろん、ご利用者やご家族の方々にはこれまで同様に良質な介護サービスを提供していくことに加え、来月2月に45周年を迎える一誠会のこれまで培ってきた経験や実績を存分に活かし、今後も地域に開かれ、さらに高品質でご利用者やご家族、また地域の方々に安心していただきたいと思っています。

一誠会の経験と実績を活かして

社会福祉連携推進法人共栄会通信



配信期間は6ヶ月ですのでお時間のある時にでも是非。

https://www.wam.go.jp/hp/keiei_seminar_goannai/



WAMでは、事業者の施設経営をバックアップするため、各種経営セミナーを開催しています

テーマは、『社会福祉連

ご覧いただけます。

この度、厚生労働省・こども家庭庁所管の独立行政法人福祉医療機構（略称WAM）が主催する「社会福祉法人経営セミナー」の講師として、水野会長付き特別補佐 兼 スーパーバイザーが講演を行いました。

WAMでは、事業者の施設経営をバックアップするため、各種経営セミナーを開催しています。WAMでは、事業者の施設経営をバックアップするため、各種経営セミナーを開催しています。

現在もWAMホームページでオンドマンド無料配信中です！

WAM主催「社会福祉法人経営セミナー」で水野SACが講演！

共栄会通信

WAM主催「社会福祉法人経営セミナー」で水野SACが講演！

認知症サポーターステップアップ講座を開催～認知症当事者を迎えて～

認 知症サポーター養成講座を受講された方を対象に、認知症の方の気持ちをより理解していく場として、ステップアップ講座を開催しています。

今回は、認知症であっても自分たちのやりたい事を話しながら、社会参加をしているデイサービス『DAYS BLG はちおうじ』に通う認知症当事者の方と、代表の守谷氏に日頃の思いを伺いながら、意見交換を行いました。

「信頼できる人の支えと理解で、やれることはたくさんあるし、気持ちも前向きになります」と明るく力強く語られる当事者の方の言葉が印象的で、サポートさんも大きく頷いていました。

アンケートにも「認知症の人が特別な人になったのではない。気兼ねなく支えつながっていきたい」などの感想や当事者の皆さんへの温かい応援メッセージもいただきました。



DAYS BLG はちおうじの皆さんから貴重なお話をうかがいました



スタッフの皆さんと看板犬「カツオ君」を抱いて記念撮影

Column 1

令和6年 能登半島地震への募金開始



一誠会では各事業所に募金箱を設置しました。ご協力をよろしくお願いいたします。

震 災により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

皆様の安全と被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げ、また救済と復興支援などの活動にご尽力されている方々に深く敬意を表します。

Column 2

自衛消防の組織業務適切功労表彰



統括施設長の水野敬生が代表して表彰状を受け取りました

去 る令和5年11月15日、八王子消防署で「秋の火災予防運動 火災予防業務協力者等表彰式」があり、第二偕楽園ホームが自衛消防の組織業務適切功労表彰を受けました。今年度の自衛消防審査会2号消火栓の部で優勝したことなど、日頃の自衛消防訓練への取り組みが評価されたものです。

トップリレー



ひとりはみんなのために、みんなはひとりのために



社会福祉法人一誠会
第二偕楽園ホーム 副施設長

後藤 智子

新年あけましておめでとうござい
ます。昨年は一誠会に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し
上げます。
今年は介護報酬、診療報酬、障害
福祉サービス等報酬の3つが同時に
改定されるトリプル改定の年に当たり
ます。段階世代が75歳以上の後期
高齢者となる2025年問題が目の
前に迫り、今まで以上に介護の現場
は厳しい環境になるのではないかと
危惧しています。

一誠会の創設者新谷義克の信条で

ある「一人はみんなのために。みんなはひとりのために」がこれから
のキーワードと言えます。個と個、介
護と看護と相談など他職種間、また、介
護事業所間とのつながりやプロセスの
在り方を確認し、課題を見つけ改善
することができます。今までのやり方を変え、新しい試
みを積み重ねていくことは変化する
ということです。そして、目の前に
いるご利用者の笑顔を引き出す支援
を、職員が一丸となつて行なうことが
できたら幸いです。

Green Days



社会福祉法人一誠会 広報誌
『グリーン・デイズ』2024.1 Vol.123

Contents

02 特集

一誠会が八王子市高齢者在宅サービスセンター中野を受託!
～併設する高齢者世帯付住宅(シルバービア)の生活援助員派遣業務も受託!～

03 速報 八王子市高齢者在宅サービスセンター中野のInstagramも開設
社会福祉連携推進法人 共栄会通信

04 トップリレー

社会福祉法人一誠会
第二偕楽園ホーム 副施設長
後藤 智子

05 from 高齢者あんしん相談センター大和田

05 Column ①・②

偕楽園ホーム

06 from 特別養護老人ホーム
07 from 居宅介護支援事業所

初音の杜

08 from デイサービス
09 from グループホーム

第二偕楽園ホーム

10 from 地域密着型特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所

11 from サービス付き高齢者向け住宅

12 from 企業主導型保育所かいらくえん

13 地域公益活動／苦情の窓／ロコの部屋

14 ご寄付・ボランティアの紹介
私のボランティア活動
理学療法士の健康豆知識

15 介護の相談箱
編集後記

16 職員紹介～注目の人～
イベントスケジュール
地域交流会のお知らせ

発行/社会福祉法人一誠会
〒192-0005 東京都八王子市宮下町983番地

TEL:(偕楽園ホーム) 042-691-2830

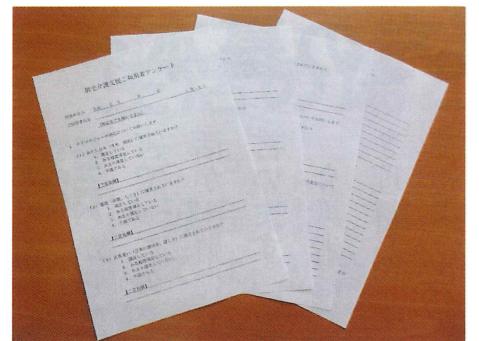
(初音の杜) 042-691-8289

(第二偕楽園ホーム) 042-691-0913

(高齢者あんしん相談センター大和田) 042-649-3280

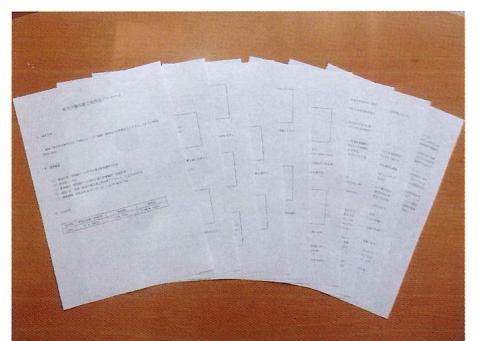
from

偕楽園ホーム 居宅介護支援事業所



アンケートにご協力をいただきましてありがとうございました

アンケートにご協力をいただきました
ありがとうございます。
アンケートにご協力をいただきました
ありがとうございます。



集計させていただいた結果は、今後の事業所運営に活用させていただきます

居宅介護支援ご利用者アンケートについて 取り組みの成果と課題

令和5年11月に、居宅介護支援ご利用者アンケートを実施しました。

アンケートから、ケアマネジャーの対応については、一定以上の評価をいたしました。回答が98%以上の結果となりました。

一方で、ケアプランについては、一部介護サービスにおいては、一部介護サービス

前年度を僅かに下回る結果となり、一層のコミュニケーションの充実や信頼感の獲得には努めていく必要性を感じました。

利用の目的についての説明不足が指摘されるものもあり、今後の係わり方への課題がみました。

また、新型コロナウイルス感染症については、「生活への影響はある」との回答が11%と前年比で28%減少していますが、「今後の過ごし方への不安」では前年度と同程度の回答結果となりました。

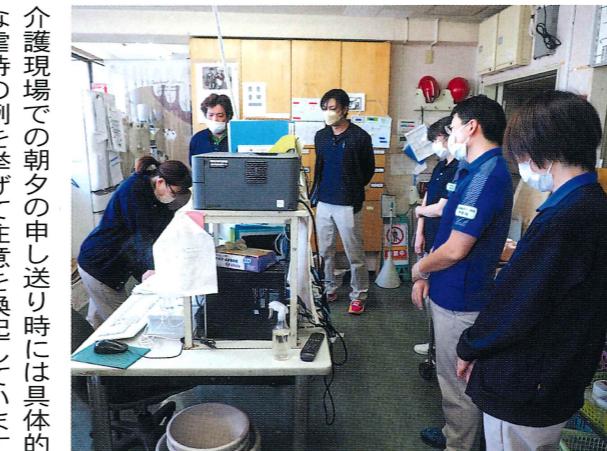
今年度のアンケートを通じて、偕楽園ホーム居宅介護支援事業所に対する満足度は前年度を上回る評価をいたしました。

しかしながら、回答率は

偕楽園ホーム 特別養護老人ホーム



介護職以外の職員も参加可能な職員会議の後に開かれた研修には、オンラインで法人内の他の事業所職員も参加しました



介護現場での朝夕の申し送り時には具体的な虐待の例を挙げて注意を喚起しています

虐待には意図的ではないケースも含まれ、その予防には日頃から細心の注意が必要です。「虐待は起きない」「虐待の芽は全て摘み取る」と決意し、大波を起こす一石を投じる研修となりました。

虐待には意図的ではないケースも含まれ、その予防には日頃から細心の注意が必要です。「虐待は起きない」「虐待の芽は全て摘み取る」と決意し、大波を起こす一石を投じる研修となりました。

介護職員発信! 現場発の虐待予防研修

虐待を予防するためには継続的な教育が必要です。一誠会では研修や日々のミーティングを通して虐待予防に取り組んでいます

近頃、高齢者施設などにおいて職員がご利用者に暴力をふるい怪我をさせた、さらには死に至らしめたと言った報道も見られています。

皆様には「一誠会は大丈夫?」と心配されている方もいらっしゃるのではないかでしょうか。虐待を未然に防ぐため、介護事業所は従業員に対して研修を受けた職員による伝達研修で、介護現場で実際に起きたケースを例に「何が」たら虐待を防止できるのかをわかりやすく説明しました。

これは東京都高齢者福祉施設協議会が行つた虐待防止研修を受けた職員による伝達研修で、介護現場で実際に起きたケースを例に「何が」たら虐待を防止できるのかをわかりやすく説明しました。

修を実施するなどの措置を講ずることが求められています。こうした中、去る令和5年11月20日(月)、偕楽園ホームにて、介護職員が主導して虐待予防研修を開催しました。

【偕楽園ホーム定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護】利用者募集中!

1ヶ月あたり定額で利用できるサービスです。介護職や看護師などによる定期的な訪問と随時の訪問を組み合わせ、24時間在宅で生活できることを支援するために必要なサービスを提供します。

◎訪問範囲：包括圏域の左入、石川、大和田、川口、中野まで伺います

◎対象となる方：要介護1以上

社会福祉法人一誠会 偕楽園ホーム

〒192-0005 八王子市宮下町983番地

TEL 042-659-3366 FAX 042-691-8288 担当：安部、遠藤

ご利用料金 (1ヶ月単位の定額制です)

定期巡回・訪問介護費(1割負担の場合)

要介護度	介護保険費用	利用者負担
要介護1	62,952円	6,295円
要介護2	112,357円	11,236円
要介護3	186,558円	18,656円
要介護4	235,995円	23,600円
要介護5	285,411円	28,541円

*自己負担割合は、所得に応じて1~3割と異なります。

from

初音の杜 グループホーム

生活の場としてのグループホーム

一誠会では、様々な認知症ケアの取り組みを行っています。ここでは、初音の杜のグループホームが行っている取り組みをご紹介します。



みんなが食べるからと丁寧にお米を研いでくださいます



洗濯物を干しすることで、運動量の増加や認知機能向上が期待できます



お食事の支度も、協力しながら行っています

家事活動の支援

グループホーム初音の杜では、家事活動も認知症ケアの一環として取り組んでいただいています。支援を行ううえで意識していることは、ご利用者一人ひとりの有する能力やお好きなことを把握し、ご本人のやる気が向くような係わりを行うことです。

家事活動を通じて脳や体を使うことで認知症の進行を遅らせています。

午後の家事活動のご様子

らせ、自尊心や自己肯定感の保持獲得をしていただければと考えています。

主婦として活躍されていた方々や、中には調理場で働いていた方もいらっしゃり、季節の食材を切るなどの調理や食後の洗い物などは、周りの方のことも気づかわれながら取り組まれています。

晴れた日には、屋上で洗濯物を干し、ご利用者からも「気

分転換にもなるし、景色がきれいで楽しい」などと言う感想も聞かれ、目や肌からも季節を感じていただけています。

また、毎日の沢山の洗濯物は、皆さまで一緒に畳んでくださり、会話や交流の一つの場面にもなっています。

グループホームでの共同生活のなかで、少しでもご自身の力が發揮でき、そのことにより自尊心への働きかけができるよう、これからも支援していなければと考えています。

認知症ケア ~向き合い方の基本~



笑顔で接し居心地の良い雰囲気作りを心掛けています

介護者は、認知症という病気を理解し、その方に応じた援助を心掛けることや、認知症の方の気持ちを察して係る思いやりが大切です。

当法人では、認知症の基本的知識、伴う周辺症状の理解をすすめながら、認知症ケアに取り組んでいます。

知症とは、成人になつてから起ころる認知機能の障害で、このために通常の日常生活が困難になつた状態のことを言います。

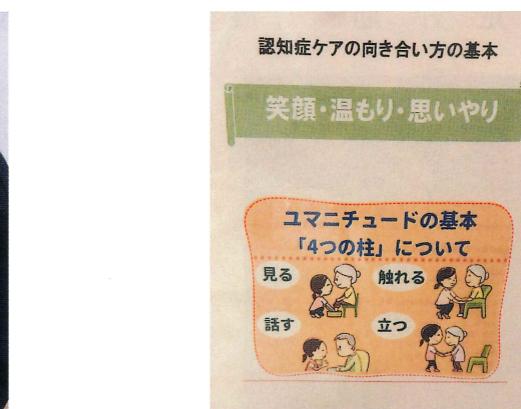
認

知症とは、成人になつてから起ころる認知機能の障害で、このために通常の日常生活が困難になつた状態のことを言います。

認知症対応型通所介護としての取り組み



定期的にミニテストを実施し知識の習得の確認をしています



ユマニチュードの4つの柱といわれているポイントを、いつでも確認できる場所に掲示しています

デ

イサービスセンター初音の杜では、認知症対応型通所介護事業を行っています。

認知症の専門的ケアを提供するため、職員には認知症ケアマニュアルを配布し、認知症ケ

アに有効とされている手法の一つである、ユマニチュードを実践しています。

ユマニチュードとは、フランス語で「人間らしさ」を示す言葉です。見る・話すなどの人間の特性に「あなたのことを大切に思っていますよ」と働きかけることが大切だとして、その係わりを通じて、唯一無二の存在として感じとつていただけ、尊厳を保つことができると思われる支援方法です。

これからも、「自分の居場所」として、安心して過ごしていただけるようなデイサービスでありたいと思っています。

from

第二偕楽園ホーム 看護小規模多機能型居宅介護事業所

第二偕楽園ホーム訪問看護ステーションの終末期の対応 ～家族の気持ちを汲んだ取り組みについて～



「看取り」という言葉にどのようなイメージを持たれますか？



「緩和ケア」は、身体的・心理社会的・スピリチュアルな苦痛を和らげるケア



ホスピスの母と言われるシリー・ソンドースが「何かをするのではなく、ただそばにいること」と名言を遺されています

看護師として訪問看護に携わるなかで、「看取りの時期が近い方の訪問」や「看取りのケア」といった依頼を受けることがあります。

看取りは日常生活の延長線上のことではありますが、ご利用者はもちろんご家族にとっても経験がなく、迷いや不安を感じることも多いようです。

看取りの時期は、臨死期に至るまでの様々な苦痛を和らげるため、「緩和ケア」

が必要な場面が多くあります。

身体的な問題としては、その人が痛みをどう感じるか、普段どのように生活上で動いているかなどが影響

することで、痛み止めの効き方が違ってきますし、心理社会的な不安や心配ごとにによって痛み止めの効果が左右されることもあります。

訪問看護では、そのようなお気持ちや周囲の状況を把握しながらトータルで問

題をとらえ、ご利用者やご家族に向き合い、薬の增量が必要か？安楽な姿勢をとるにはどうしたらよいのか？等を具体的にチームで考えていきます。

第二偕楽園ホーム訪問看護ステーションは、介護予防の段階から関わって、最期のお看取りの段階まで、各ステージに応じて、そつ

と手が差し伸べられるような支援者でいたいと考えています。

【訪問看護ステーション】正看護師/理学・作業療法士募集中！

1日4件程度の余裕のある訪問で心を大切にしたリハビリをしませんか。当事業所には保育園もあり、小さなお子さんのいる職員も多数在籍。一緒に仕事をできる仲間を募集しています。

問 社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム 訪問看護ステーション
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1867 FAX 042-691-1870 担当：山口



from

第二偕楽園ホーム 地域密着型特別養護老人ホーム

笑う門には福来る 職員が力を合わせて門松作り



偕楽園ホームの裏庭の竹林からみんなで力を合わせて竹を切り出します



第二偕楽園ホーム入り口の職員入魂の門松です。竹と松の緑に南天の赤が映えています

の年の年神様をお迎えするため、正月に各家庭の玄関に飾られる「門松」。最近は飾つてある家も少なくなつてきましたが、第二偕楽園ホームをはじめ、一誠会では毎年この門松を全ての事業所で職員が手作りして作つて飾っています。

主に作成に携わっているのが、庶務職員と常務理事と第二偕楽園ホームの介護理事ですが、門松作りの第一歩は竹を伐採するところから始まります。本体施設である偕楽園

ちなみに、竹の切り口が斜めなのは、切り口が笑つた口に見えることから「笑う門には福来る」という縁起を担いでいるとも言われています。ホームの裏手には幸い竹が多く生えており、その中から真っ直ぐに生えている竹を切り出します。

ホームの裏手には幸い竹が多く生えており、その中から真っ直ぐに生えている竹を切り出します。

ショートステイは介護者にエールを送る事業です しっかり休んで頑張る介護！

短期入所 生活介護事業所

第 二偕楽園ホームでは、ショートステイ専用のお部屋を9部屋ご用意しています。介護者が旅行や仕事で家を不在にする時や、「少し介護に疲れたな」と感じた時などに1泊からご利用いただくことができます。

介護者が介護から離れる時間を作ることで、身も心もリフレッシュしてまた介護を頑張る、そんなお手伝いができればと思います。

なお、第二偕楽園ホームのショートステイの利用は市外の方でもご利用可能ですのでお気軽にご相談ください。



ストレッチャーでも送迎しております

～地域のみなさまに見守られて～



沢山の方々に来ていただき盛況でした。成長した懐かしい子どもたちにも会えました
職員の手作り玩具は大人気でした。ご利用者もとても楽しそうにお買い物をされていました
紙皿と毛糸で素敵なミニツリーが出来ました。ご利用者も熱心に取り組まれていました

初めての ふれあいバザー

開設5周年を記念して、11月11日(土)に初めて「ふれあいバザー」を開催しました。

当日は少し肌寒い日でしたが、園児や保護者をはじめ、卒園児・施設のご利用者の皆様、地域の方々などにもご来場いただき、みんな一緒に楽しいひと時を過ごすことができました。

日常のふれあいが子どもたちの成長に繋がります

少人数で家庭的な保育所で一人一人に細やかに関わ

ることが出来ることが「かいらくえん」の大きな特徴ですが、保育所だけでは無く、施設のご利用者の皆さんや地域の方々との交流により、他者の存在を感じ、相手の思いに寄り添う感情が芽生えてきます。

幼老複合施設の メリットを活かして

これからも高齢者施設と併設であり、豊かな自然に囲われる環境を活かして、様々な体験の中で豊かな感性と優しい心を持つ子ども達を育てていきます。

ご飯の中に灰色の物体が付着 配食サービス



令和5年8月、配食容器を洗浄していた厨房職員が「ご飯に何か分からないう色が付いていて食べられませんでした」とのメモを発見しました。保健所の食品衛生担当者に相談するも前例がないとのことでした。

虫が食べた形跡などもないとから、炊飯時の泡立ちが残り、冷めて灰色に変色したものと推測されます。

今後は、炊きあがった際には中心部分のご飯をよそる、ご飯を冷まし、目視で確認してから茶碗に盛るなどし、再発防止に努めます。

お一人で食べられる量のおせち料理で、お正月の気分を味わえます
可能ですが、人数分が届く配食サービスは無駄にならず、ゴミも出ず

好評です。



お一人で食べられる量のおせち料理で、お正月の気分を味わえます

新人ウーパールーパー『ひめ』 口コと楽しい仲間たち



水槽の中をのびのびと
楽しそうに泳ぐひめ様

10月に新たに仲間入りしましたウーパールーパーの『ひめ』です。身体はまだまだ小さいですが、とっても元気で楽しそうに水槽の中でも泳いでいます。
ブラックという種のウーパールーパーで、成長することに黒さが増し、やがて鳥の濡れ羽色になるそうです。泳ぐ姿はまるで人魚姫のようで、人間になることを夢見て水槽から出てくるかもしれません。



園児募集中

0歳から2歳

介護・医療従事者の変則的な勤務体系にも対応し、土曜保育(要相談)、1日4~5時間、週2~3日といった短時間の受け入れも可能。ご相談受け付けます。

産休明け~満1歳未満 8:30~16:00
満1歳以上 7:30~18:30

*保護者の勤務時間による

アレルギー・障害児保育: 広相談
延長保育 18:30~20:30: 要相談(別途料金がかかります)

社会福祉法人一誠会 企業主導型保育所かいらくえん
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1868 メール:hoiku@kairakuenhome.or.jp



保育内容

お問い合わせ

